

7番 時吉 茂治 議員

1 鹿屋市自転車活用推進計画について

- (1) 自転車による手軽な運動は、増加傾向にある生活習慣病やメタボリックシンドローム該当者の改善が期待できる。高齢化の進行による健康寿命の延伸はますます重要な課題になっている。  
また、買い物や通勤通学にも使え、自動車免許証を返納した方の移動手段の確保のため、電動アシスト付自転車の購入補助を実施する考えはないかを示されたい。
- (2) 本市における令和2年度から令和4年度までの各年度の自動車免許証の返納者数を示されたい。
- (3) 健康増進のため、通学・通勤における自転車利用を促進し、マイカーひとやすみ day の取組を企業等へ推奨することで、移動手段を自動車から自転車に変えることによるCO2削減の取組を推進します、としている。マイカーひとやすみ day に何社が参加してその参加人数は几人か。  
また、マイカーひとやすみ day に市職員は何人参加しているのかも示されたい。
- (4) 自転車を活用した健康づくりに関する広報啓発活動は、どのような方法をとっているのか。
- (5) 自転車利用者の交通安全の意識の醸成が重要と考えるが、本市における小学校、中学校での保護者を含めての交通ルールの周知と安全教育が行われているのかを示されたい。
- (6) 自転車の正しい交通ルールを楽しみながら学習し、守ってもらうため、各小学校において、自転車の交通ルールに関するテストを受講した児童に「鹿屋市自転車免許証」を交付する制度を検討する、としている。「鹿屋市自転車免許証」を携帯・提示する児童を対象に市有施設において利用料金の割引などの特典を受けられる制度である。「鹿屋市自転車免許証」制度は実施されているのかを示されたい。
- (7) 本市における令和4年中の自転車事故は何件か。  
また、その内容はどのようなものか。

(8) 自転車損害賠償保険への加入義務や、鹿屋市交通災害共済への加入のための周知啓発は行っているのかを示されたい。

また、自転車通学をしている高校生、中学生の自転車損害賠償保険加入と鹿屋市交通災害共済への加入実績は把握しているのか。それぞれの加入は何%かを示されたい。

(9) 観光振興や地域活性化など、自転車を活用したまちづくりにはレンタサイクルの導入や、サイクルスタンドの整備、サイクルツーリズムにおけるモデルルートの設定や、サイクリングマップの作成、サイクリングツアーの造成など、また、近隣市町との連携も欠かせない。現況はどうなっているのか。

また、今後の取組についても示されたい。

(10) タンデム自転車や、ハンドサイクル等を活用した障がい者スポーツは、障がい者の生きがいやQOLの向上、健康長寿社会や共生社会の構築にも貢献するものでもあることから、広報啓発や体験試乗などを通じて障がい者スポーツの推進を図ります、としている。現在、本市にタンデム自転車やハンドサイクルが何台あるのかを把握しているのかを示されたい。